科目番号	59009	分類	専門科目 生活支援総合看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	基礎看護学 （ Fundamental Nursing ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○髙橋　智子　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 看護学の理論的枠組みと哲学的基盤に関する理解を深め、自己の経験と照らし合わせながら、看護の本質および変化する社会における看護の方向性について探究する。また、文献抄読や研究論文のクリティークを通して、研究方法や自己の探究する看護現象への理解を深める。 【目標】 1. 看護学の理論的枠組みについて理解できる。 2. 看護の哲学的基盤について理解できる。 3. 自己の臨床場面を振り返り、現象について説明できる。 3. 看護理論が看護実践や研究に及ぼす影響を分析する。 4. 文献抄読や研究論文のクリティークを通じて研究疑問に関する既存の知識アプローチの実際を知る。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１・２回 第３・４回 第５～15回	看護学の理論的枠組み－看護実践における概念や原理 看護の哲学的基盤－看護の役割と看護の倫理指針 文献抄読・プレゼンテーション・ディスカッション ・概念分析 ・理論構築 ・看護実践 ・看護倫理 ※授業は学生のプレゼンテーションを中心に展開する。 ※進捗状況によりスケジュールが変更されることがある。	髙橋 他１名

事前・事後学習	事前学習：自らの経験について振り返り整理する。看護理論および倫理原則に関する文献を読み、理解を深める。 事後学習：授業で取り上げた文献および資料等を熟読し、内容の理解を深める。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	文献抄読・プレゼンテーションの参加状況（20%）及び内容（40%）、レポート（40%）により評価する。フィードバックは適宜行う。
参考図書 ・資料等	Chinn,P.L.&Kramer,M.K.(2021). Knowledge Development in Nursing: Theory and Process (11thEd.). Elsevier. Meleis, A.I(2017)/中木高夫監訳(2021). セオレティカル・ナーシング 原著第６版-看護理論の開発と進歩. 看護の科学社. 手島恵.(2025).これからの倫理と看護. 第２版. 日本看護協会出版会. 筒井真優美編.(2020). 看護理論家の成績と理論評価 第２版. 医学書院. ※その他、参考図書については適宜紹介する。
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。